

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲

□□□□□
てんてん手鞠(てんまり) てん手鞠(てまり)
てんてん手鞠の手がそれて
どこから どこまでとんでった
垣根をこえて 屋根こえて
おもての通りへ とんでった とんでった

おもての行列 なんじゃいな
紀州(きしゅう)の殿さま お国入り
金紋(きんもん) 先箱(さきばこ) 供(とも)ぞろい
お駕籠(か)のそばには ひげやっし
毛槍(けやり)をふりふり やっくらわのやっくらわ

てんてん手鞠は てんころり
はずんでおかごの 屋根のうえ
「もしもし 紀州のお殿さま
あなたのお国の みかん山
わたしに 見させて下さいな 下さいな」

お駕籠はゆきます 東海道(とうかいどう)
東海道は 松並木(まつなみき)
とまり とまりで 日がくれて
一年たっても 戻(もど)りやせぬ
三年たっても 戻りやせぬ 戻りやせぬ

てんてん手鞠は 殿さまに
だかれて はるばる 旅をして
紀州はよい国 日のひかり
山のみかんに なったげな
赤いみかんに なったげな
なったげな

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲

□□□□■

1.

てんてん手鞠 (てんまゐ)

てん手鞠 (てまゐ)

てんてん手鞠の

手がそれて

どこから どこいまで

とんでった

垣根をこえて 屋根こえて

おもての通りへ

とんでった とんでった

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲

□□□■

2.

おもての行列
なんじゃいな

紀州(きしゅう)の

殿さま お国入り

金紋(きんもん) 先箱(やちばこ)

供(とも)ぞろい

お駕籠(かご)のそばには

ひげやっぴ

毛槍(けやり)をふらふら

やっぴらやのやっぴらや

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲

3.

□□■ ■■

てんてん手鞠は

てんころり

はずんでおかごの

屋根のうえ

「もしもし

紀州のお殿さま

あなたのお国の

みかん山 わたしに

見させて下さいな

下さいな」

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲



4.

お駕籠はゆきます

東海道

東海道は 松並木

とまり とまりで

日がくれて

一年たっても

戻りやせぬ

三年たっても

戻りやせぬ

戻りやせぬ

鞠と殿さま

西條八十作詞
中山晋平作曲

5.

てんてん手鞠は

殿さまに

だかれて はるばる

旅をして

紀州はよい国 日のひかり

山のみかんに なったげな

赤いみかんに なったげな

なったげな